

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
東京アニメ・声優 専門学校	平成22年11月25日	小達 一雄	〒134-0081 東京都江戸川区北葛西4丁目10番1号 (電話) 03-3688-2205																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
学校法人滋慶学園	昭和58年12月23日	浮舟 邦彦	〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6丁目16番2号 (電話) 03-5878-3311																				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																			
文化・教養	文化・教養専門課程	アニメ総合制作科 (昼間部二)	平成26年文部科学省 告示第7号	-																			
学科の目的	本校は、教育基本法に則り、学校教育法に従い、文化・教養専門課程を設置し、そのもてアニメ業界に従事しようとする者に、必要な知識や技能及び人間力を身に付け、社会に貢献できる人材を育成する。																						
認定年月日	平成28年3月31日																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
2年	昼間	1800時間	180時間	1500時間	120時間	0時間	0時間																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																		
80人	95人	37人	5人	5人	10人																		
学期制度	■1学期(前期):4月1日～9月30日 ■2学期(後期):10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席状況、試験、提出物を元にA,B,C,Dの4段階にて評価																			
長期休み	■春季:3月14日～4月7日 ■夏季:7月21日～8月31日 ■冬季:12月23日～1月5日		卒業・進級 条件	学期ごとに試験を行い、また最終学年の終わりには、卒業試験を行う。科目の成績評価及び進級・卒業判定会議の審議に基づき、進級、課程修了の認定を行う。ただし、演習、実習については演習、実習の成績によって修了を認定することができる。																			
学支支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任制度により学期ごとに個人面談を実施。また、保護者を含めた三者面談や学生相談センターによるカウンセリング等も実施している。		課外活動	■課外活動の種類 学園祭等の実行委員会 ■サークル活動: 無 ■国家資格・検定/その他・民間検定等																			
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) 株式会社ヒエロ 株式会社壽屋 ■就職指導内容 履歴書添削、ポートフォリオ(作品集)指導、面接指導等 ■卒業生数 45 人 ■就職希望者数 26 人 ■就職者数 26 人 ■就職率 : 100.0 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 57.8 % ■その他 ・進学者数: 1人 (平成29年度卒業者に関する 平成30年5月1日時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	なし											
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																				
なし																							
中途退学 の現状	■中途退学者 5名 平成29年4月1日時点において、在学者 96名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者 91名(平成30年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由、病気・治療、学生生活不適合、進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 個人面談、学費相談、保護者面談、3者面談、補習、学生相談センターとの連携		■中退率 5.2%																				
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 出席率を基準とした留学生対象の学費減免制度あり ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																						
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載																						
当該学科の ホームページ	http://www.anime.ac.jp/public_info/public_info.php																						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

「職業人教育を通じて社会に貢献していく」ことをミッションとしている。東京アニメ・声優専門学校は、『アニメを通して、人に喜びや感動を与えられる「即戦力」』となるエンターテインメント業界の人材育成を目的とする

具体的には主に次の3つを基本方針としている。

- 1.専任教員と業界で現役として活動している兼任教員による講師会議にて、現在の在学生の状況を踏まえ、業界に求められる即戦力を育成するための方策を検討、授業内容の改善を図る。
- 2.普段は授業等で学生と関わらない、第三者として助言を受けることで、学生の現状を切り離れた業界からの要望を把握するため、教育課程編成委員会を設置。業界動向や、業界の方の意見、要望などを取り入れ、授業内容の見直しや授業方法の改善・工夫等を行う。
- 3.学校主催の合同企業説明会への参加企業、業界研修の受け入れ先企業、授業への企業課題の提供をいただいている企業から情報提供を得て、今後求められる即戦力を把握。授業内容の改善に活かす。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、理事会のもとで各校ごとの委員会が設置され、(添付教育課程編成委員会規程参照)、委員会の適切な運営は理事長が担保する。また、学校運営においては、教員組織規則において、「委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に活かし、実績的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従い、委員会を運営する。

具体的には次の流れで教育課程を作成する。

教務部が学生の学習状況や学生が目指す業界の状況から原案を作成する。原案は第1回教育課程編成委員会にて吟味し、業界事情を鑑みた指摘事項を教務部に提示する。指摘事項を元に再度教務部にて調整を行い、第2回教育課程編成委員会にて確認を受ける。その後、学校長の承認をもって最終決定となる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
小達 一雄	東京アニメ・声優専門学校	平成30年4月1日～平成32年3月31日	学校長
内海 景	東京アニメ・声優専門学校	平成30年4月1日～平成32年3月31日	事務局長
伊藤 大祐	東京アニメ・声優専門学校	平成30年4月1日～平成32年3月31日	教務部長
長谷川 亮太	株式会社Ritrovo	平成30年4月1日～平成32年3月31日	③
森澤 克彦	日本ビデオコミュニケーション協会	平成30年4月1日～平成32年3月31日	①

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回 12月および2月に実施

(開催日時)

第1回 平成29年12月10日 17:00～18:30

第2回 平成30年 2月28日 17:00～18:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
委員会を経て、二つの課題への取り組みを実施。

①「業界と学生とのギャップ」について

業界研究を年に3回実施し卒業後の自分を創造しやすい環境を作る。
卒業までに6社を目標に業界研修を実施。

②「グローバル人材の育成」について

海外実学研修プログラムの内容見直し

国内にある企業との連携強化を行い、グローバルな視野を持った教育プログラムの構築を行う。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

業界が求める人材を業界とともに育成する「産学連携教育」を基本方針とし、専門技術・知識、並びに人間力を持ち合わせた人材の育成を行うため、企業から仕事を課題としていただく「企業プロジェクト」を通して実践的な授業を展開する他、現場の第一線で活躍するプロに兼任教員を依頼するなど、授業内容を業界関係者と共に企画立案し、その実施・達成度評価を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

<企業連携概要>

【目的】

造形物制作におけるコミュニケーション力／課題解決力／完成制度／チームワーク力の向上を図る。

【プロジェクト内容】

フィギア制作を行い「ワンダーフェスティバル」への展示出展

<評価方法>

【学校】

■作品完成までの報告書の管理

■チーム制作でのコミュニケーション

【企業】

■製作作品の完成度

■チームワーク力

■技術課題解決力

■コミュニケーション力

実施期間：平成29年10月2日(月)～11月19日(日)

企業評価日：平成30年2月18日

学校評価日：平成30年2月18日

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
色彩&キャラクター	色彩および人体描写を通して、アニメ・フィギュア制作に必要とされる「原画・原型制作、色彩設計力」の向上を計る	株式会社 壽屋

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学園の定める教職員規程において、教員の授業内容・教育技法の改善並びにクラス運営の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定めている。

平成29年度においては、業界の現状と動向についての把握と具体的な必要とされるスキルを学ぶ研修、および中途退学者防止に向けた「学生一人ひとり」に対する対応策の企画立案・実施・評価というPDCAサイクルを展開することを年間の教育活動の中心とし、以下の要素が年間の授業内容に反映されるよう研修を行った。

① キャリア教育の視点

② カリキュラム改善、教育技法の改善

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名 アニメーション技術「3D」(連携企業等:デジタルノイズ)

期間:8月1日(火) 対象:全教員

内容:3DCGの活用として、「Light Wave」を利用した効率的な制作方法を学ぶ。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名 指導力強化研修(連携企業等:デジタルノイズ)

期間:9月27日(水) 対象:全教員

内容:日常における学生との接し方、指導のあり方を修得する。また学生の育成計画の立て方について修得する。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名 アニメーション技術「制作進行」(連携企業等:デジタルノイズ)

期間:9月24日(月) 対象:全職員

内容:アニメーションも作画を外注するなど、海外とのやり取りも増えてきている。そのため、海外への発注を視野に入れた制作進行业務で期待される技能を学ぶ。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名 指導力強化研修(連携企業等:デジタルノイズ)

期間:10月6日(土) 対象:全職員

内容:集団統制や動機付けの仕方を学ぶ

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者並びに、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通じ、学校運営の改善に生かす事を方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	運営方針 事業計画 運営組織 人事・給与制度 意思決定システム 情報システム
(3)教育活動	目標の設定 教育方法・評価等 成績評価・単位認定等 資格・免許取得の指導体制 教員・教員組織
(4)学修成果	就職率 資格・免許の取得率 卒業生の社会的評価
(5)学生支援	就職等進路 中途退学への対応 学生相談 学生生活 保護者との連携 卒業生・社会人
(6)教育環境	施設・設備等 学外実習、インターンシップ等 防災・安全管理
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動 入学選考 学納金
(8)財務	財務基盤 予算・収支計画 監査 財務情報の公開
(9)法令等の遵守	関係法令、設置基準等の遵守 個人情報保護 学校評価 教育情報の公開
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献 ボランティア活動
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

職業人教育を通じて社会に貢献できるよう、健全な経営基盤を持つ学校運営を目指す。そのために、学校評価委員会の委員からの意見を踏まえて、教育活動・環境の充実や学生支援の強化などの改善をしている。

具体的には、次の2点を取り組んでいる。

・機材の保守点検について

保守点検の徹底と予備機材の導入により、機材の故障による貸出不可等の状況を回避する。

・卒後支援について

キャリアセンターは卒業後も相談窓口として利用可能であることをアピールし、就職後の離職防止、再就職のサポートを強化する。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
小高 みちる	有限会社 デジタルノイズ	平成30年4月1日～平成32年3月31日	企業代表
松島 洋之	アオイススタジオ 株式会社	平成30年4月1日～平成32年3月31日	企業代表
長谷川 亮太	株式会社Ritrovo	平成30年4月1日～平成32年3月31日	企業代表
森澤 克彦	日本ビデオコミュニケーション協会	平成30年4月1日～平成32年3月31日	団体代表
小池 万瑠美	株式会社 AIR AGENCY	平成30年4月1日～平成32年3月31日	卒業生
針替 恵	保護者	平成30年4月1日～平成32年3月31日	保護者
鈴木道子	十四軒会 子ども会 会長	平成30年4月1日～平成32年3月31日	地域関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他() ()

URL: http://www.anime.ac.jp/public_info/public_info.php

公開年月日 平成30年7月1日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

ホームページによる情報公開の他、学校主催の合同企業説明会や卒業・進級制作展などのイベント時での説明会、卒業生の就職先やインターンシップ等受け入れ先への直接訪問によって情報提供を行う。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要 沿革 建学の理念 学校安全関連
(2) 各学科等の教育	受入方針 定員 カリキュラム 卒業判定基準 卒業と同時に取得する
(3) 教職員	教職員数 教員の業績
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み 産学連携教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	校舎設備紹介 海外実学研修
(6) 学生の生活支援	中途退学防止への取り組み 健康管理
(7) 学生納付金・修学支援	学費一覧 奨学金・教育ローン案内
(8) 学校の財務	財務資料
(9) 学校評価	学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	留学生支援 留学生の受入状況 外国の学校等との交流状況
(11) その他	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL: http://www.anime.ac.jp/public_info/public_info.php

公開年月日 平成30年7月1日

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 アニメ総合制作科 昼間部二) 平成29年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○				英会話	国際社会に対応すべく、コミュニケーションを円滑に計るための英会話力を向上させる	1通	60	-	○			○		○	○	
○				プレゼンテーション	就職活動、また仕事現場において必要とされる自己表現力向上を目的に、プレゼンテーション技術を学ぶ	1通	60	-		○		○		○		
○				コンピュータ	ソフト「ILLUSTRATOR」「PHOTOSHOP」の使用習得。また使用を通して描写力、デザイン力の向上を計る	1通	60	-	○			○		○		
○				デッサン	線や明暗、調子などでバランスや質感、量感等、物体の形を正確に捉えることを身につける	12通	240	-		○		○		○		
○				ビジネスマナー	キャリア形成における自己理解と、就職活動、また仕事現場に必要とされるマナースキルを習得する	2通	60	-	○			○		○		
○				デジタルワークⅠ	ソフト「3DsSTUDIO MAX」「RETUS」の使用習得。また使用を通して、デジタルアニメーションの基本技術を学ぶ	1通	240	-		○		○		○		
○				デジタルワークⅡ	ソフト「3DsSTUDIO MAX」「RETUS」の使用習得。また使用を通して、デジタルアニメーションの応用技術を学ぶ	2通	240	-		○		○		○		
○				背景描写	アニメ制作における背景描写力向上を目的に、遠近描写を通して「遠近法」を体得する。	12通	120	-		○		○		○		
○				制作Ⅰ	アニメーション制作における「キャラクターおよび背景描写」に関する基礎描画力の向上を計る	1通	120	-		○		○		○		
○				制作Ⅱ	「キャラクターおよび背景描写」に関する応用描画力の向上と共に、就職活動に必要な「ポートフォリオ」を制作する	2通	120	-		○		○		○		
○				色彩&キャラクター	色彩および人体描写を通して、アニメ・フィギュア制作に必要とされる「原画・原型制作、色彩設計力」の向上を計る	12通	120	-			○	○		○		○
○				業界研修	アニメーション制作、または関連業界において現場経験を培うと同時に、将来像(目的・目標意識)を明確にする。	2通	120	-		○		○			○	
○				コミュニケーション技法	良好な人間関係の構築を目的として、集団における自己表現、ホスピタリティ、サービスマインド等を体系的に身につける	12通	120	-		○		○			○	
○				進級制作	各科目で習得した1年間の技術集大成として、アニメーション作品の制作等をおこなう	1通	60	-		○		○			○	
○				卒業制作	各科目で習得した2年間の技術集大成として、アニメーション作品の制作等をおこなう	2通	60	-		○		○			○	
合計				15科目		1800単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
学期ごとに試験を行い、また最終学年の終わりには、卒業試験を行う。その授業科目の成績評価及び卒業判定会議の審議に基づき、課程修了の認定を行う。ただし、演習、実習については演習、実習の成績によって修了を認定することができる。	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。